

『捜査官の交通事故解析 〔第3版〕』お詫びと訂正

下記箇所において、文章の欠落があったため、お詫びして訂正いたします。

146 頁最下部〈図 3.20 新前部車体吸収エネルギー分布図（8 車型の分布図）〉の下に、以下の一文を付け加える。

（月刊交通 2008 年 8 月号 93 頁より引用）

『捜査官のための交通事故解析〔第2版〕・〔第3版〕』のお詫びと訂正

本書付属 CD-ROM のエクセルデータ「交通事故解析」内に誤植がありました。お詫びして、訂正いたします。

○誤植箇所

エクセル「ウイドマーク計算法による飲酒後のアルコール濃度」シート内

「飲酒量からアルコール濃度を求める」計算式の

「飲酒経過時間（h）＝」のに関するコメント欄

[誤] 2時間以上の飲酒が継続した場合には、**印象開始開始時**からの時間を経過時間としてください。



[正] 2時間以上の飲酒が継続した場合には、**飲酒開始時**からの時間を経過時間としてください。

○修正済みエクセルデータのダウンロードについて

2018年5月15日より、〔第3版〕ご購入者の方は、修正済みエクセルデータをダウンロードできます。

立花書房 出版部

「捜査官のための交通事故解析〔第2版〕」 付属 CD-ROM 誤計算の修正について

本書付属の CD-ROM に収録されております交通事故解析用 Excel ファイル内《加速前後の速度から加速に要した距離の計算》のシートにおきまして、結果を求める際の表計算に誤りがございました。

お詫び申し上げますとともに、下記に Excel ファイルの修正手順を記載いたします。Excel ファイルを修正のうえ、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

1 はじめに

《加速前後の速度から加速に要した距離の算出》シートでは、『加速に要した距離から加速後の速度を求める』及び『加速前後の速度から加速に要した距離を求める』ができるようになっています。

両計算ともに、道路の勾配によって加速に影響が出ることから、加速係数 a に道路勾配 θ を考慮しています。その計算式は

登り勾配 5% の場合には $\theta = -0.05$ となり、登り勾配では加速度は低下
下り勾配 5% の場合には $\theta = +0.05$ となり、下り勾配では加速度は上昇

することになります。しかし、本シート内の計算では、勾配を入力した際に

例：登り勾配 3% であった場合に『3』と入力しますと、 $\theta = +0.03$

と誤った計算を行っています。このまま計算すると、登り勾配の道路にもかかわらず加速度が高くなり、正しい速度及び加速距離が算出できません。この誤計算を修正します。

2 CD-ROM 内のデータをコピーする

CD-ROM のまま「交通事故解析」ファイルを使用されている方は、パソコンのハードディスクにコピーしてください。

3 Excel のマクロ機能を有効にする

この「交通事故解析」ファイルでは Excel のマクロ機能を活用しています。マクロ機能を無効にするとファイルは立ち上がりますが、正常な動作をしません。下記手順にてマクロを有効に設定します。

【エクセル 2007 を使用している場合】

①ファイルを開く ②メニューバー下部『セキュリティの警告』の『オプション』をクリック ③『セキュリティの警告-マクロと ActiveX』の『このコンテンツを有効にする(E)』を選択 ④『OK』をクリック。

マクロが有効になり「交通事故解析」ファイルがご利用できるようになります。

【エクセル 2003 を使用している場合】

本書 126 頁「4.1.3 事故解析ファイルの起動」をご参照のうえ、マクロを有効にしてください。

4 修正手順

(1) シート保護の解除

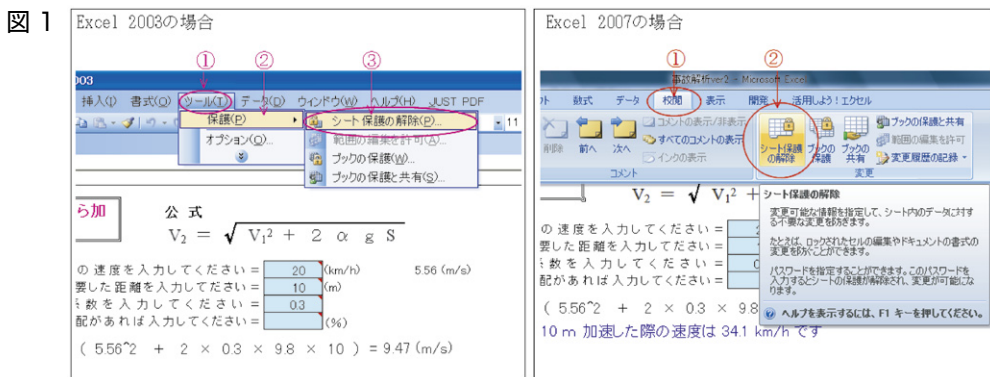
《加速前後の速度から加速に要した距離の算出》シートは、データの不要な変更を避けるために保護されています。

【Excel2003 を使用している場合】

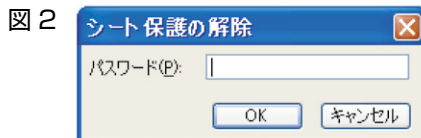
ツールバー内から『ツール(T)』をクリックします(図1左図の①)。『保護(P)』にマウスを合わせる(図1左図の②)と、右側にアクセスツールバーが表れますから、このバー内の『シート保護の解除(P)』をクリックしてください(図1左図の③)。

【Excel2007 を使用している場合】

ツールバー内から『校閲』をクリックします(図1右図の①)。新たに、アクセスツールバーが表れますから、このバー内の『シート保護の解除』をクリックしてください(図1右図の②)。



『シート保護の解除』をクリックすると図2のウィンドウが表れますので、パスワードを入力して下さい。



パスワードは半角・小文字で次のように入力してください。

mak1n0

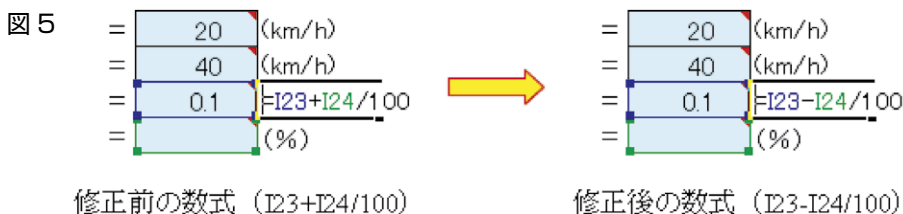
『m』, 『a』, 『k』は小文字アルファベット, 『1』は数字, 『n』は小文字アルファベット, 『0』は数字です。画面上には*****と表示されます。『OK』ボタンをクリックしてください。これでシートの保護が解除されました。

手順④ セルの文字色を「白色」に戻します。

A のセルにマウスを合わせて、右クリックし、『セルの書式設定』→『フォント』を選択します。テーマの色の中から白色ボタン (Excel2003 では最下段の右 1 列目) を選択しクリックします。『色(C)』の下の表示が白色の表示に変わったことを確認して、『セルの書式設定』の右下にある『OK』ボタンをクリックしてください。

手順⑤ 最後に、B のセルの修正を行います。

作業は A のセルと同様です。B のセルを右クリックし、手順②から始めてください。手順③にて、セルの表示は『=I23+I24/100』と表示されていますから、この数式を『=I23-I24/100』と修正します (図 5 参照)。

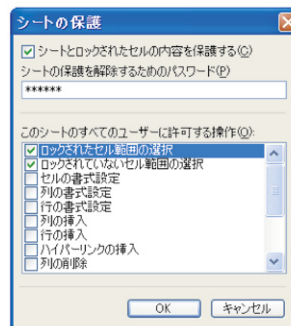


修正後は、手順④に従って B のセルの文字色を「白色」に戻してください。

(3) シートの保護

データの不要な変更を避けるためにシートの保護をお願いします。ツールバー内の『ツール』又は『校閲』をクリックして、アクセスツールバーから、『シートの保護』をクリックしてください。

右図のウィンドウが開きますから、シート保護の解除に使用したパスワード (mak1n0) を入力してください。パスワードを入力すると、『パスワードの確認』というウィンドウが表れますので、同じパスワードを再度入力してください。入力したパスワードに誤りがあった場合は、改めて入力し直してください。



5 終わりに

交通事故解析 CD-ROM をご利用いただき、心から感謝いたします。

ご不明な点がございましたら、下記メールアドレスまで問い合わせください。

自動車工学研究所 E-mail:makino_ael@peace.ocn.ne.jp

正誤表

98 頁, (3.25) 式

$$\begin{aligned} \text{誤} \quad V_x' &= \frac{(D_x - 32.5)}{5.1} \cdot \sqrt{\frac{M_x'}{217}} \\ \text{正} \quad V_x' &= \frac{(D_x - 32.5)}{5.1} \div \sqrt{\frac{M_x'}{217}} \end{aligned}$$

98 頁, (3.26) 式

$$\begin{aligned} \text{誤} \quad V_y' &= \frac{(D_y + 57.6)}{6.0} \cdot \sqrt{\frac{M_y'}{212}} \\ \text{正} \quad V_y' &= \frac{(D_y + 57.6)}{6.0} \div \sqrt{\frac{M_y'}{212}} \end{aligned}$$

99 頁, (3.27) 式

$$\begin{aligned} \text{誤} \quad V_1 &= \frac{(E_1 + 95.3)}{7.3} \sqrt{\frac{m_1'}{m_1}} \\ \text{正} \quad V_1 &= \frac{(E_1 + 95.3)}{7.3} \div \sqrt{\frac{m_1'}{m_1}} \end{aligned}$$

99 頁, (3.28) 式

$$\begin{aligned} \text{誤} \quad V_2 &= \frac{(E_2 - 16.2)}{3.7} \sqrt{\frac{m_2'}{m_2}} \\ \text{正} \quad V_2 &= \frac{(E_2 - 16.2)}{3.7} \div \sqrt{\frac{m_2'}{m_2}} \end{aligned}$$

99 頁, (3.29) 式

$$\begin{aligned} \text{誤} \quad V_3 &= \frac{(E_3 - 41.0)}{2.2} \sqrt{\frac{m_3'}{m_3}} \\ \text{正} \quad V_3 &= \frac{(E_3 - 41.0)}{2.2} \div \sqrt{\frac{m_3'}{m_3}} \end{aligned}$$